



信頼 努力 協同

# 狭山台中だより

狭山市狭山台 4-26

04-2958-6791

令和4年1月8日

第15号

学校教育目標

◎学び合う生徒

◎考えて行動できる生徒

◎高め合う生徒



## コロナに負けず、笑顔があふれ、成長を実感できる一年に！

明けましておめでとうございます。寅年となりました。正月三が日は、爽やかな晴天となり、初日の出をご覧になった方も多かったことと思います。私は、毎年、初日の出を見て、心新たに新年をスタートしています。寒い朝でしたが、澄んだ空気が気持ち良い朝になりました。思い返すと今から30年ほど前、私が教職に就いたころは、この時間を野球部の生徒と一緒に過ごしていました。部活動にほとんど制限がありませんでしたから、元旦マラソンと称して、朝6時30分に生徒を集め、2km程離れた有名な神社に必勝祈願に行っていたことがありました。その時間に初詣に行くとライバル校とも出くわし、そこで年頭の挨拶を交わしたものです。今思えば、当時の生徒やご家族はいい迷惑だったことでしょう。元旦に生徒を集めて神社に行くなんて、今では考えられませんね。



ところで、初日の出を拝むという風習は、世界的に見ても珍しいことのようにですが、日本人は、朝日に特別な感情を抱き、何か神聖な力を感じる文化のようです。特に元旦の朝日は、美しく新鮮で神々しく感じてしまう。「一年の計は元旦にあり」とも言います。・・・もちろん、昨日の朝日も今日の朝日もみな同じです。それでも、自分の心があらたまれば、見るもの聞くものがみな新しく感じる。「今年も良い年に！」「今年も一年健康で！」「今年がんばります！」初日の出は拝まずとも、子どもたちの中にもきっと、新鮮な気持ちで新年をスタートさせた子がたくさんいるはず。子供たちのこの思いや決意を大事にして、令和4年をスタートしたいと思います。

生徒・保護者・地域の皆様の笑顔が絶えない幸せな一年になりますようお願いするとともに、本年も子供たち一人一人が、成長を実感し、笑顔あふれる学校であるよう教職員一同努力してまいりますので本校への一層のご支援とご協力をお願いいたします。本年もよろしくお願いいたします。

# 成人になる

明日 9 日、狭山市では成人式が行われます。昨年は、コロナで延期となり 11 月に行われました。今年は予定通り行うことができそうです。20 歳の青年たちが狭山市民会館に集います。

さて、今年 2022 年 4 月 1 日、いよいよ成人年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられます。明治 9 年に 20 歳と決められてから 146 年ぶりに変わるそうです。つまり、現中学生は 18 歳、高校 3 年生の時に法令上の成人となり、大人としての責任が生じることになります。同時に自分のことは自分で決断して決めることができるということでもあります。親の承諾なしに結婚できたりローンを組んだりすることもできますが、未成年ではないので、罪を犯せば、名前も顔写真も公にされます。それにお酒とたばこは健康上の理由から 20 歳からですので、今の 20 歳成人とは若干違いますが、立派に？大人扱いをされます。

果たして、中学校を卒業して 3 年後（4 月生まれの生徒はほぼ 2 年後）に成人であるイメージがわくでしょうか。それまでに正しい判断ができるように成長させ、社会に出ても挫けない強さも育みたいと改めて思う年頭となりました。

## 茶道部の初釜

6 日（木）茶道部の初釜にご招待いただきました。初釜ははじめてだったので、ちょっと緊張！年頭に心洗われる緊張感に触れ、背筋が伸びる思いでした。茶道部の皆さん、今年は、大茶会が開かれると信じ、がんばりましょう。



1月	学校行事・授業関係等 予定
1 土	元日
2 日	休日
3 月	休日
4 火	冬季休業日
5 水	冬季休業日
6 木	冬季休業日
7 金	冬季休業日
8 土	第3学期始業式 避難訓練（集団下校）
9 日	狭山市成人式
10 月	成人の日
11 火	給食開始
12 水	
13 木	専門委員会 5 時間授業
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	学年朝会3年
19 水	学年朝会2年
20 木	学年朝会1年
21 金	道徳研究発表会
22 土	私立高校入試中心日
23 日	私立高校入試中心日
24 月	※最終下校時刻 17:00 に
25 火	生徒朝会
26 水	PTA地区懇談会
27 木	
28 金	
29 土	
30 日	
31 月	

## 校長のつぶやき 「七転八起の心」

だるまを買ってきました。だるまは、願いをかける時に片目を入れ、願いがかなったら残りの目を入れると言われます。そこで、個人的に2つ願掛けをしました。1つは、3年生全員が、希望をもって自分の進路に進んでいってくれること（合格祈願）。2つ目は、台中生全員が七転び八起きの心をもって逞しく成長してくれること。だるまは「七転び八起き」を象徴し、どんな困難に会おうとくじけずに起き上がる姿を表わしているとも言われます。台中生には、いろいろなことに挑戦し、たとえ、失敗してもめげずに何度でも立ち上がること。そして、とにかく「毎日、明るく、元気に、ベストを尽く」そんな前向きな気持ちで中学校生活を過ごさせたいなあと考えています。

